

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 4 年 10 月 18 日(2022.10.18)

【公開番号】特開 2021-13460(P2021-13460A)
 【公開日】令和 3 年 2 月 12 日(2021.2.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2021-006
 【出願番号】特願 2019-128502(P2019-128502)
 【国際特許分類】
 A 6 3 F 7/02(2006.01)
 【F I】
 A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
 【提出日】令和 4 年 10 月 7 日(2022.10.7)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
 可変表示を実行する可変表示手段と、
 演出を制御する演出制御手段と、を備え、
 前記演出制御手段は、
 可変表示に対応する対応表示を表示手段に表示可能であり、
 操作部を振動させる所定振動演出を実行可能であり、
 前記所定振動演出が実行される場合の方が前記所定振動演出が実行されない場合よりも
 前記有利状態に制御される割合が高く、
 前記対応表示の表示態様として、前記有利状態に制御されることを示唆する予告態様と、
 前記所定振動演出が実行されることを示唆する特別態様とがあり、
前記演出制御手段は、
前記所定振動演出として、第 1 タイミングで第 1 所定振動演出を実行可能であり、該第 1
タイミングの後の第 2 タイミングで第 2 所定振動演出を実行可能であり、
前記第 1 所定振動演出の実行後、前記第 2 所定振動演出の実行前に、前記対応表示を前記
特別態様とし、前記第 2 所定振動演出が実行されたときに、前記対応表示を非特別態様と
することが可能であり、
複数の振動態様により前記所定振動演出を実行可能であり、
前記所定振動演出の振動態様に応じて前記有利状態に制御される割合が異なる
 ことを特徴とする遊技機。

30

40

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 6】

手段 D の遊技機は、
遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
可変表示を実行する可変表示手段と、

50

演出を制御する演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、

可変表示に対応する対応表示を表示手段に表示可能であり、

操作部を振動させる所定振動演出を実行可能であり、

前記所定振動演出が実行される場合の方が前記所定振動演出が実行されない場合よりも前記有利状態に制御される割合が高く、

前記対応表示の表示態様として、前記有利状態に制御されることを示唆する予告態様と、

前記所定振動演出が実行されることを示唆する特別態様とがあり、

前記演出制御手段は、

前記所定振動演出として、第 1 タイミングで第 1 所定振動演出を実行可能であり、該第 1 タイミングの後の第 2 タイミングで第 2 所定振動演出を実行可能であり、

前記第 1 所定振動演出の実行後、前記第 2 所定振動演出の実行前に、前記対応表示を前記特別態様とし、前記第 2 所定振動演出が実行されたときに、前記対応表示を非特別態様とすることが可能であり、

複数の振動態様により前記所定振動演出を実行可能であり、

前記所定振動演出の振動態様に応じて前記有利状態に制御される割合が異なる

ことを特徴とする遊技機。

手段 B 1 の遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態（大当たり遊技状態）に制御可能な遊技機（パチンコ遊技機 1）であって、

可変表示（変動表示）を実行する可変表示手段（CPU 103、演出制御用 CPU 120）と、

演出を制御する演出制御手段（演出制御用 CPU 120）と、を備え、

前記演出制御手段（演出制御用 CPU 120）は、

可変表示（変動表示）に対応する対応表示（アクティブ表示、保留表示）を表示手段（画像表示装置 5）に表示可能であり、

操作部（スティックコントローラ 31A）を振動させる所定振動演出（単体振動演出）を実行可能であり、

前記所定振動演出が実行される場合の方が前記所定振動演出が実行されない場合よりも前記有利状態に制御される割合が高く（図 13 - 13、図 13 - 14、図 13 - 16、及び図 13 - 17 に示すように、単体振動演出が実行される場合の方が、単体振動演出が実行されない場合よりも大当たり期待度が高く）、

前記対応表示（アクティブ表示、保留表示）の表示態様として、前記有利状態（大当たり遊技状態）に制御されることを示唆する予告態様（青色態様、赤色態様）と、前記所定振動演出（単体振動演出）が実行されることを示唆する特別態様（動作態様）とがある

ことを特徴とする遊技機。

このような構成によれば、対応表示の表示態様によって所定振動演出が実行されることを示唆することが可能であるため、操作部を振動させる演出の興趣を向上させることができる。

10

20

30

40

50